

①経営ビジョン重点目標： **分かりやすい指導** <授業の充実>

4段階評価 4…達成 3…概ね達成 2…改善の余地あり 1…工夫・改善が必要									
重点努力事項	評価項目	(到達) 目標	主な具体的取組	自己評価	自己評定		学校運営協議会委員 評定	学校運営協議会委員コメント	
					自己評定	総 合			
学習指導方法の工夫・改善	1	授業を工夫・改善し、分かりやすく、楽しい授業をめざす。 (生徒・保護者評価3以上)	・「ひなたの学び」を意識した授業づくりの実践 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり ・ICTの活用促進 ・各種テストの分析 ・コミュニケーション能力の育成（アウトプットする力の育成）	（評価：生徒 3.1 保護者 2.8 ） ・生徒の評価は比較的高いが、保護者の評価は低い。 ○学力テストの分析を行い、「ひなたの学び」やユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善に努めてきた。 ○指導過程での「話すこと」「書くこと」のアウトプットを継続し取り組んでいる。	3		3	○否定的な保護者の意見がいずれも30％を超えているところを見ると、この評価項目に関しては厳しく考えている。子供の学習への取組が不十分であり、授業も理解できていないと思う保護者が多いと判断した方がいいのではないかと。 ○ひなたの学び、ユニバーサルデザインによる改善について、保護者への周知度と満足度が気になる。（※生徒の変化や満足度も気になる。） ○「誰一人取り残さず」「大切に育てる」方向性は大切にしてほしい。 ○廊下や通路等にも学習のヒントになるような掲示があり、生徒の興味・関心を引く工夫がなされている。 ○デジタル教科書や音声素材を使って、わかりやすい授業の工夫がなされている。	
キャリア教育の充実	2	進学先や将来の職業、生き方について自ら考える生徒を育成する。 (生徒・保護者評価3以上)	・キャリアパスポートの実践・活用 ・職場体験学習の実施 ・職業講話の実施 ・学級活動の充実 ・総合的な学習の時間の充実	（評価：生徒 3.0 保護者 2.9 ） ・生徒・保護者の評価は同程度である。 ○主な学校行事の際には、PDCAサイクルを意識させながら、事前、事後に表現活動を実施できた。 ○第2学年の「職場体験学習」をはじめ、各学年とも地域・市・県の人材を活用し、実践に努めた。				○否定的な保護者の意見がいずれも30％を超えているところを見ると、この評価項目に関しては厳しく考えている。子供が進学先や将来の職業、生き方について自分の考えをもっていないと思う保護者が多いと判断した方がいいのではないかと。 ○「職場体験学習」は、感染症対策が大変でしょうが、「大人の世界」を知ること、大切で必要なことだと思います。 ○意思決定する上での情報が生徒にとっては乏しい方もあると思うので、いろんな選択肢があることを知り得る機会を準備してください。 ○2年生の職場体験学習だけでなく、他の学年でも、様々な体験ができる工夫がなされている。	
家庭学習の充実	3	家庭学習の定着を図る。 (生徒・保護者評価3以上)	・生徒自ら考えて行う家庭学習の支援 ・定期テスト前の家庭学習の計画的実践 ・タブレット持ち帰りの実施	（評価：生徒 2.3 保護者 2.5 ） ・生徒・保護者ともに評価が低い。 ○定期テスト前の家庭学習の計画立案など取り組んだが、家庭学習の定着にはつながっていない。 ○本年度日南市が「学習アプリ※1」を導入したので、宿題の与え方を含め、タブレット持ち帰りなどを積極的に行い、引き続き家庭学習の定着を図りたい。				2	○特に、この項目は生徒・保護者ともに50％台の否定的な評価。いつの時代もそうだと思うが、勉強はしていないと意識している生徒・保護者が多い。 ○自主性を育てるのは難しいと思います。先生方のポジティブな姿勢、あきらめない心に期待します。 ○毎日の学習記録や長期休暇中の学習計画の提出等、教職員からの働きかけがなされているが、その通りに実行できているかは不明である。
【課題と改善策】 ○校内研究の「スクールワイドPBS※2」の取組を授業に結びつけ、相互授業参観などを実施し、授業実践していきたい。また、「ひなたの学び」や「ICT活用」についても積極的に啓発をしながら、教職員の授業力向上を図っていききたい。 ○キャリア教育の視点を重視し、学習の意義や意味を生徒に捉えさせながら、生徒の意欲へ繋がる方策を今後とも開発し、継続していきたい。 ○家庭学習の充実が課題である。学習アプリの導入によるタブレット持ち帰りなどを積極的に行い、宿題の与え方を含め、家庭学習の定着のあり方を検討していきたい。									

※2「スクールワイドPBS」…学校の様々な場所や時間帯ごとに予め目標とする行動を決めておいて、全職員で生徒がその行動をとれる環境をつくったり、生徒がまたその行動をとりたいと思うような関わりをしたりすることで、全ての生徒が目標とする行動がとることができるようにする手法。

②経営ビジョン重点目標： **過ごしやすい環境** <生徒指導の充実>

4段階評価 4…達成 3…概ね達成 2…改善の余地あり 1…工夫・改善が必要								
重点努力事項	評価項目	(到達) 目標	主な具体的取組	自己評価（特記事項）	自己評定		学校運営協議会委員 評定	学校運営協議会委員コメント
					自己評定	総 合		
基本的生活習慣の定着	4	基本的生活習慣（あいさつや言葉遣い、時間を守る、服装・身なり、提出物忘れがないなど）が身に付いている。 (生徒・保護者評価3以上)	・校内研修の充実（スクールワイドPBS） ・「LSB※3」の活用 ・充実（提出物・忘れ物の改善） ・あいさつの励行 ・自力登校の励行	（評価：生徒3.2 保護者3.1）・生徒の評価は比較的高いが、保護者の評価も同程度である。 ○校内研修のスクールワイドPBSの取組では、「1分前着席」についてプレ実施に取り組み、ある程度の成果が出た。生徒の「挨拶」をはじめとする行動目標を設定し、来年度の実践に尽力していきたい。	3			○保護者も一緒に取り組んでいただけると成果も上がると思います。 ○奇声を発する生徒の割合が少ないので、落ち着いている様子がわかる。 ○小・中学校周辺は、狭い路地が多い。自転車等の飛び出しなど「交通安全」「命を守る」教育を推進してほしい。 ※3「LSB」… 日南市の中学校が取り組んでいる手帳的なもの。各種行事や時間割を記録し、自ら時間管理ができるように配付している。
人権尊重教育の推進	5	優しさや思いやりの心が育っている。 (生徒・保護者評価3以上)	・いのちの教育の充実 ・道徳の時間の充実 ・「レインボープラン※4」の授業実施 ・「いいとこメガネ※5」の取組	（評価：生徒3.5 保護者3.5）・生徒・保護者ともに評価が高い。 ○「レインボープラン授業」の年3回を含め、道徳や学活の授業を計画通りに実施できた。 ○「いいとこメガネ」の取組では、他を肯定的に評価する姿勢を育てることができた。	4			○「いいとこメガネ」を家庭でも話題にする生徒もいると聞く。良い影響があるのではないかなと思う。 ※4「レインボープラン」…日南市が推奨している人権学習の総称。 ※5「いいとこメガネ」… クラスメイトの長所を見つけて、文書で感謝を伝える活動。
道徳・特活・総合的な学習の時間の充実 生徒会活動・集会や学校行事の充実	6	授業や生徒会活動、学校行事を通して、自ら考え、判断し、行動できる生徒を育成する。 (生徒評価3以上)	・ねらい・道徳的価値を追求した授業の実施 ・生徒会・委員会活動の充実 ・学校行事等での生徒の自主的な活動の場面づくり ・行事前後の意識付けと反省・自己評価	（評価：生徒3.1） ・生徒の評価は比較的高い。 ○生徒会など生徒が主体的に運営していくように心がけ、学校行事等を実施した。 ○生徒会及び学校行事の際には、事前、事後に表現活動を実施し、振りがえさせることができた。	3	3	3	○学校行事、生徒会活動等、一体感があると感じています。 ○生徒会役員にも多くが立候補する等積極性が見られる。
教育相談等の生徒指導の充実	7	いじめ・不登校・問題行動の未然防止と早期発見に努める。 (生徒・保護者評価3以上)	・教育相談（いじめ）アンケート、教育相談の実施 ・携帯電話・SNS使用に関する教育・啓発	（評価：生徒3.6 保護者3.4） ・生徒・保護者ともに評価が高い。 ○SNSの利用の仕方の指導や命を守る指導（SOSの出し方など）を学期末ごとに行い、生徒への啓発ができた。 ○校内定期教育支援委員会、運営委員会や生徒指導職朝（職員会）を通して、全職員の共通理解を図り、組織的に適切な対応ができた。	4			○「嫌がらせや、いじめ、学校に通うことが楽しいか」の評価について、保護者の10％程度が否定的な評価をしており、生徒も9名が何らかの信号を出していることに気を留めておいてください。 ○統計では27人に1人が不登校だそうです。対応が難しいと思いますが、情報を共有してなんとか前に進めればと思います。 ○それぞれ感じ方は違うと思いますが、常に目配り・気配りをお願いします。 ○通常の学級への参加が難しい生徒や不登校生徒への様々な関わりが工夫されている。
【課題と改善策】 ○校内定期教育支援委員会、運営委員会や職員会での生徒共通理解等を通して、いじめや不登校、特別支援学級に在籍する生徒に関する指導・支援の共通理解を積極的に図り、組織的に適切な対応をしていきたい。 ○SNSの利用の仕方の指導や命を守る指導（SOSの出し方、レインボープラン授業など）を継続し、定期的に取り組んでいきたい。 ○生徒会を中心にスクールワイドPBSの取組を実践し、基本的な学習習慣や生活習慣の確立をめざし、取り組んでいきたい。								

③経営ビジョン重点目標： **家庭・地域と共にある学校** <家庭・地域との協働>

4段階評価 4…達成 3…概ね達成 2…改善の余地あり 1…工夫・改善が必要								
重点努力事項	評価項目	(到達) 目標	主な具体的取組	自己評価	自己評定		学校運営協議会委員 評定	学校運営協議会委員コメント
					自己評定	総 合		
積極的な情報発信	8	学校の情報を積極的に発信する。 (保護者評価3以上)	・HPの充実 ・学校だより・学級通信の発行 ・保健だよりの発行 ・安心安全メールの活用 ・地域への回覧による情報発信	(評価：保護者 3.3) ・保護者の評価は良好である。 ○今後とも学級通信・学年通信や学校便り、ホームページなどで、学校行事や生徒の活動の様子を保護者や地域の方に発信していきたい。	4			○ありがとうございます。 ○学級・学年通信や安心安全メール等様々な方法で発信されている。
家庭及び地域との連携	9	生徒や職員の地域行事への積極的な参加を図るとともに、日南市・地域の人材・教材を授業や行事等に積極的に活用する。 (生徒・保護者評価3以上)	・地域行事への参加 ・職場体験学習 ・職業講話 ・職場訪問 ・交通安全教室 ・避難訓練 ・食育授業	(評価：生徒 2.5 保護者 3.1) ・生徒の評価は低めであるが、保護者の評価は高い傾向にある。 ○飫肥城下まつりへの全校生徒の参加を計画・実現できた。 ○飫肥城下まつりの前日の運営ボランティアや「ボランティアの日」(いおし神社・西公園清掃ボランティア活動)の募集に、積極的に参加しようとする生徒が見られた。 ○生徒の評価が低めなのは、外部人材との交流・接触・刺激を求めているのではないかと考えられる。	3	3	3	○地域のイベントや行事に参加して頑張っている姿が目につきました。よい体験になり自信がつくと思います。 ○小学校で地区の活動が無くなっているようなので交流が少なくなっていると思います。 ○住みやすい街作りを住民全員が取り組むイベント等の開催と住民が集える場所が必要だと思います。 ○地域行事やボランティア等への参加が積極的になされている。 ○生徒の評価が低いのは、実感がなく授業の一環として捉えており、地域との関係性としての意識が薄いのではないか。もっと生徒に対して、その意義の説明やアピールをするべきではないか。 ○地域行事の参加には、子どもたち(保護者)の負担のないように、厳選されたものの、意味あるものに限定して行ったほうが良い。
【課題と改善策】 ○今後ともホームページを適宜更新し、学校便りや学級通信等を定期的に発行するなど、生徒や保護者及び地域の方々に、積極的にそして効果的に情報を提供していきたい。 ○教職員の働き方改革の観点から、学校行事の内容を精査し、地域行事への参加を見極めていきたい。その一方で、地域人材を活用した授業や部活動等への参画や連携を拡充できればとも考えている。								